

令和 6 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

熊本県

行 事 名 称	第 7 1 回 文化財防火デー（市内文化財の消火訓練）
実施期間・日時	令和 7 年 1 月 2 6 日（日） 1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 0 0
実 施 場 所	国指定重要文化財 老神神社（人吉市老神町 2 2）
主 催 者	人吉市・人吉市教育委員会・人吉市文化財保護委員会

■実施内容

訓練の想定

老神神社境内に参拝客が数名いる際に本殿から出火したと想定。

訓練の内容

老神神社関係者 3 名が巡視中に火災場所を確認。関係者一人が火災報知器を押し非常ベルを鳴らす。非常ベルを聞いた別の関係者が消防署へ実際に通報するとともに、駆け付けた周辺住民と共に屋外での初期消火活動を実施（水消火器を使用）。同時に関係者一人は貴重品の持ち出しを行い、参拝客を安全な場所へ誘導。駆け付けた消防隊員は、本殿方向へ放水し消火活動を実施（水幕ホースも利用）。消防団員は、消防隊員の補助を行う。

放水による消火活動終了後、参加者全員で（地元住民等）、消火器の取扱い訓練及びバケツリレー訓練を実施。

参加者及び役割分担

【老神神社関係者（3名）】：通報、初期消火、貴重品持ち出し、避難誘導

【下球磨消防署（3名）】：放水による消火訓練、参加者に対する消火器使用法の説明、バケツリレーによる消火方法の指導、消防団員に対する講評、老神神社関係者・地元住民参加者に対する講評

【消防団（9名）】：積載車による広報活動（周辺町内へ消火訓練周知）、放水訓練時の交通整理、放水訓練時の消防隊員の補助

【周辺住民（15名）】：参拝客（避難役）、消火訓練への参加

【人吉市教育委員会（7名）】：司会進行、消火訓練補助

【人吉市文化財保護委員（4名）】：消火訓練補助、講評

【人吉市総務部防災課（1名）】：消火訓練補助

特に工夫した点

白・黄・赤の発煙等を時間差で使用することで、実際の火災を想定した演出をすることができた。また、多くの方に参加していただくため、人吉市の広報誌・近隣町村に対する回覧・報道関係 1 3 社に対する事前通知を行い、防火デーに伴う消火訓練の周知に力を入れた。

問題点・課題

今回参加いただいた方が年配の方に偏っていた。また、参加者にとっては、放水活動・消火器取扱い訓練・バケツリレーによる消火訓練それぞれの合間の時間が長く、待機する時間が長かった。

その他

今後は幅広い年代の方に参加いただくため、下球磨消防署とさらに協議を重ね、効率的な時間配分とすることで、「煙体験」も実施する方向で検討したい。

訓練風景

